

飛鳥資料館 夏期企画展 第8回写真コンテスト「飛鳥の路」

あなたの心にうかぶ、飛鳥の路の魅力はなんですか？

飛鳥時代、都に往還する人々が歩いた山田路や下ツ道などの大道。持統天皇が吉野へ行幸した芋峠越えの街道。長い歴史をもつ路が、飛鳥にはあります。

今も飛鳥には、日々、人々が歩む路があります。古い集落をぬける路。田畑の畦道。寺社の参道。路傍にたたずむ石仏や季節の花々が、懐かしい景色をいろどります。

古代から現代まで、あまたの人々が行き交い、歴史を重ねてきた飛鳥の路。

第8回の写真コンテストでは、「飛鳥の路」をテーマに、飛鳥地域の歴史や文化、人々の営みを感じる「路」を撮影した写真を募集します。飛鳥の路の魅力を写真で表現してください。

(飛鳥資料館 西田 紀子)



応募締切：7月2日(日)必着

写真展示期間：7月28日(金)～9月3日(日)

来館者投票期間：7月28日(金)～8月20日(日)

お問合せ・応募先：〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601 飛鳥資料館 写真コンテスト係(☎0744-54-3561)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/>

平城宮跡資料館 夏のこども展示「ナント! すてきな!? 平城生活」

今年も、あつというまに夏のこども展示の時期になってきました。

今年の展示は、「ナント! すてきな!? 平城生活」です。ここでは、まずは、平城京にくらした人々みやこびとーの生活のありさまを紹介します。その上で、「平城京24時間」、「平城カレンダー」、「ゆりかごから墓場まで」等の展示で、みやこびとーの一日、一年、一生といったライフサイクルをお示ししたいと思います。はたして、1300年前の奈良時代のみやこびとの平城生活は、どのようなものだったのでしょうか？ 私たち現代人の生活とつながるものもあるのでしょうか？ 乞うご期待。

会期中には、こどももおとなも楽しめるギャラリートークも開催予定です。ぜひ、ご家族で一緒にお越しください。

(企画調整部 加藤 真二)



会期：7月22日(土)～9月3日(日)月曜休館

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

ギャラリートーク：7月28日、8月4日、18日、25日(いずれも金曜日)各回14:30～(予定)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heiyo/museum/> お問合せ：☎0742-30-6753(連携推進課)

お知らせ

「奈良の都の木簡に会いに行こう！」(日本学術振興会 ひらめき★ときめきサイエンスプログラム)

みなさんは木簡(もっかん)を見たことがありますか？平城宮跡で、夏休みの1日を木簡とともに過ごしてみませんか？詳しくはホームページ(<https://www.nabunken.go.jp/fukyu/event2017.html>)をご覧ください。

日時：8月22日(火)・23日(水)9:30～17:00(同一プログラムで2回おこないます)

募集人数：各日とも10人(締切7月28日。応募多数の場合は抽選になります)

対象：小学5・6年生、中学生(保護者同伴可)

申込：TEL(0742-30-6753)または、日本学術振興会のホームページ(<https://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html>)からお申し込みください。

記録

文化財担当者研修(専門研修)

○建築遺構調査課程

2017年6月12日～6月16日 7名

平城宮跡資料館春期企画展

2月4日(土)～4月2日(日)

「発掘速報展 平城2016」 12,658名

平城宮跡資料館春期企画展

4月29日(土)～5月31日

「永野太造作品展—草創期の奈文研を支えた写真家—」 21,811名

現地説明会

○平城第584次発掘調査 現地説明会

平城宮跡東院地区

2017年5月21日(日) 519名

第120回公開講演会

2017年6月17日(土) 195名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2017年6月